

# 平成29年度 事業報告

社会福祉法人 ゆめさき会  
障害者支援施設 ゆめさきの家

## — 平成29年度 総括 —

重点課題1	社会貢献活動の推進
評価	「地域における公益的な取り組み」として、昼食宅配サービス、親子陶芸教室を継続的に実施した。また、姫路市社協の委託を受け、市民後見フォローアップ研修を実施した。

重点課題2	後見制度利用の推進
評価	家族に対して積極的に情報提供を行った結果、後見制度利用に向け専門的機関へ相談に行く家族が増加した。 後見制度に関する理解は深まったものの、新たな後見制度利用には至らなかった。

重点課題3	高齢期を迎える利用者ニーズに沿った生活支援の充実
評価	生活していく上でのリスクの高まり、特に摂食・嚥下障害に対応するため食材や食事形態の工夫を行い、誤嚥事故を防止した。 また歩行不安定の方に対して配膳用ワゴンを導入し、転倒による怪我などのリスク軽減を図った。

### グループホームの設立

法人の中期計画に掲げていたグループホームを平成30年3月に開設し、新たな事業展開を図った。現在、利用者3名が世話人の支援を受けつつ地域生活を送っている。

### 相談支援事業の開始

平成29年10月から相談支援事業所「ゆめさきの家」を開設し、1名の相談支援専門員が相談支援業務にあたっている。

現在、25名が利用中。

## I 利用者の状況(平成 30 年 3 月 31 日現在)

### 1 定員(施設入所 30 名 生活介護39名)

現員 施設入所 30 名(男 20 名、女 10 名) 生活介護 33 名(男 23 名、女 10 名)

### 2 実施機関

\*姫路市は通所利用者(生活介護)3名を含む

実施機関	利用者数	実施機関	利用者数	実施機関	利用者数	実施機関	利用者数
姫路市	*19	加古川市	1	西脇市	1	池田市	1
明石市	2	朝来市	3	高砂市	1	尼崎市	1
西宮市	2	宝塚市	1	神河町	1	合計	33

### 3 年齢

下線は通所利用者(生活介護)

年齢 性別	20~	30~	40~	50~	60~	70~	合計	施設入所利用者 最年少 41 歳 最年長 75 歳 平均年齢 53 歳
	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳		
男	1	0	15	4	3	0	23	
女	0	0	3	2	3	2	10	
計	1	0	18	6	6	2	33	

### 4 障害の程度

【障害の程度(療育手帳)】

程度 性別	軽度	中度	重度	合計
	男	2	3	
女	1	5	4	10
計	3	8	22	33

【障害支援区分】

区分 性別	2	3	4	5	6	合計	平均 区分 4.9
	男	0	2	6	8		
女	0	1	3	3	3	10	
計	0	3	9	11	10	33	

### 5 入退所状況

【施設入所】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在籍人員	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30

【生活介護】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在籍人員	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	33

## II 支援の状況

利用者のニーズに即した個別支援計画を策定し、支援を実施した。

### 1 生活支援

- (1) 共同生活の利点を活かしつつ、居宅に近い環境の中で基本的な生活能力の向上を図った。
- (2) 外出支援やフリープランなどを通じて地域資源を有効に活用し、社会経済活動への参加促進を行った。
- (3) 多様な活動内容を設定し、個別ニーズに対応した幅広い支援を行った。
- (4) 職種間で連携し、利用者の健康維持・増進のために必要な支援を行った。
- (5) 障害の特性に応じた環境整備や必要な人的サポートを実施し、日々の生活が円滑に送れるよう支援を行った。
- (6) 適度な運動の機会やバランスのとれた食事を提供し、利用者の健康増進、疾病予防に努めた。
- (7) 利用者の理解度や障害特性に応じたコミュニケーション方法を充実させ、日々の生活場面において円滑な意思疎通が行なえるよう努めた。
- (8) 福祉用具や健康器具を適宜導入し、加齢、疾病等による利用者の日常生活能力低下防止や事故予防に努めた。

#### 《生活の流れ》

7:00	起床・洗面	15:30	衣類・居室整理
8:00	朝食・歯磨き	16:00	フリータイム
9:00	清掃	18:00	夕食・歯磨き
10:00	作業	15:30 ～20:00	入浴
12:00	昼食・歯磨き		
13:30	作業	21:30 ～23:00	消灯 就寝
15:00	コーヒータイム		
水・金	午後 余暇活動 クラブ活動	水	午前 スノーズレン
土	午前 施設内外の清掃等	午後	クラブ活動 余暇活動
日・祝日	午後 余暇活動		
◇その他 適宜買物、美容、投票行動、喫茶利用への支援を実施した			

#### 《行事等》

月	行事名	行き先・内容
4	フリープラン	丸山総合公園（花見）①
	フリープラン	丸山総合公園（花見）②
	フリープラン	丸山総合公園（花見）③
5	フリープラン	グリーンエコー笠形（ハ゜ベ゜キゝ）①
	フリープラン	グリーンエコー笠形（ハ゜ベ゜キゝ）②
	のじぎくスポーツ大会	三木総合運動公園（フライングディスク競技参加）
6	フリープラン	かんぽの宿淡路（食事・観光）
	姫福学園祭	姫路保育福祉専門学校学園祭（バザー）

	フリープラン	あずきミュージアム（見学）①
7	フリープラン	あずきミュージアム（見学）②
	フリープラン	あずきミュージアム（見学）③
8	フリープラン	原不動の滝（観光）
	納涼まつり	ゆめさきの家（地域交流）
9	フリープラン	ほっともつとスタジアム（野球観戦）
	フリープラン	姫路セントラルパーク
10	フリープラン	パナソニック工場見学
	フリープラン	生野銀山
	フリープラン	プラット赤穂シネマ（映画鑑賞）
	観月会	ゆめさきの家（月見・バーベキュー）
11	夢前文化交流発表会	姫路市北部市民センター（演奏・地域交流）
	フリープラン	国見の森公園①
	フリープラン	国見の森公園②
12	フリープラン	御津 櫓（食事）①
	フリープラン	御津 櫓（食事）②
1	フリープラン	御津 櫓（食事）③
	フリープラン	御津 櫓（食事）④
2	フリープラン	日生 よしのや（食事）①
	フリープラン	フォレストステーション波賀（食事）②
	フリープラン	日生 よしのや（食事）
3	フリープラン	御津 櫓（食事）⑤

※保護者会行事

- 11月 親子の集い（日帰り旅行） 楓香荘  
3月 食事会（於 交流ホム）

2 作業支援

- (1) 多様な作業種目の提供や一人ひとりに即した作業環境を整えることを通じて、作業意欲の向上及び達成感が得られるよう支援した。
- (2) 生活の場と作業の場を明確に分け、日常生活に変化とリズムが得られるように支援した。
- (3) 作業手順の見直しや作業環境の整備、従事利用者の意欲向上を図り、よりよい製品作りに努めた。
- (4) 販売活動を活性化させ、作業の充実感、達成感が得られるよう努めた。

《よもぎ班》

作業場所	交流ホーム・夢幸房東	利用者数	10名（内2名は重複）
作業内容	◆浴用よもぎ湯の製造・販売      ◆さき織りマットの製造		
実績	<p>◆作業ミスが減少するよう利用者個人の能力に合わせた自助具を作成、使用した事で品質向上、作業の効率化に繋がった。</p> <p>◆観光シーズンに合わせて納品業務を追加した事で売り上げの向上に繋がった。</p>		

《リサイクル班》

作業場所	あざみ工房	利用者数	8名
活動内容	◆回収してきた空き缶、ペットボトルの分別・プレス作業 （処理後、資源としてリサイクル業者へ納入）		
実績	<p>◆クッションマットの張り替え、高圧洗浄機での清掃を行い、作業場の衛生保持に努めた。</p> <p>◆学生寮や施設などの大口回収先を確保し、空き缶・ペットボトルの回収量の安定化を図った。</p> <p>◆スムーズに作業が行えるよう作業動線を見直し、作業効率がアップした</p>		

《あざみ班》

作業場所	夢幸房西・あざみ工房・交流ホーム	利用者数	4名
作業内容	◆さき織りマット・すだれ・土鈴の作製・販売		
実績	<p>◆布によるホコリが多い為、戸車やエアコンの掃除を定期的に行った。</p> <p>◆定期的にもシンとハサミ等の作業用具のメンテナンスを行った。</p> <p>◆個々の理解に応じた作業内容であるか随時確認し、作業しやすいよう改善を図った。</p> <p>◆ポップ等を工夫し、売り上げ向上に努めた。</p>		

《洗濯班》

作業場所	洗濯室	利用者数	1名（2名による交替制）
作業内容	◆施設利用者の衣類等の洗濯、乾燥及び仕分け作業、及び各手洗い場の洗剤の補充業務		
実績	<p>◆スケジュール表に沿って取り組み、概ね利用者の洗濯物回収に支障をきたす事なく作業を行えた。</p> <p>◆洗濯済み衣類に匂いが残っている状態だった為、衣類に匂いを残さず洗濯できるように洗濯機を2台から3台に増やし、それに伴いランドリーボックスも3台に増やした。スケジュール表の見直しも行った。</p>		

《チャレンジ班》

活動場所	夢幸房東・あざみ工房	利用者数	6名
活動内容	<p>【午前】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆さき織りマットに使用する布の裁断、布裂き</li> <li>◆布貼り絵に使用する布の布切り ◆陶芸品の製作</li> </ul> <p>【午後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆さき織りマットに使用する布の裁断、布裂き</li> <li>◆布貼り絵に使用する布の布切り ◆陶芸品の製作</li> </ul> <p>◆施設外活動（地域周辺の散策）【午前】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆さき織りマットに使用する布の裁断、布裂き</li> <li>◆布貼り絵に使用する布の布切り ◆陶芸品の製作</li> </ul> <p>【午後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆さき織りマットに使用する布の裁断、布裂き</li> <li>◆布貼り絵に使用する布の布切り ◆陶芸品の製作</li> </ul> <p>◆施設外活動（地域周辺の散策）</p>		
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆定期的なアート展開催により陶芸品を展示販売し、地域住民への啓発活動を推進した。</li> <li>◆新しい製品（陶芸品）の製作に努め、売り上げが増えた。</li> <li>◆陶芸体験を実施し、地域の方と交流を図った。 (教室利用者 地域住民8名 高齢者施設利用者29名)</li> <li>◆陶芸体験が地域行事として定着してきた（あすなる教室8名）。</li> </ul>		

《清掃班》

作業場所	トイレ、風呂場、廊下、窓、2F ティーサーバー、男子棟階段	利用者数	2名
作業内容	◆月～金にかけて、トイレ①②及び男子棟トイレ、男子棟 1F2F、及び女子棟風呂場等の清掃を行ない、施設内美化に努めた。		
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆作業担当者が1名変更となったが、時間をかけて手順の説明を行うことで、以降は適切な手順で取り組まれた。</li> <li>◆トイレ①洋式トイレ入替により清掃箇所が変更になったが、説明することで適切に取り組まれている。</li> </ul>		

《企業内作業班》

作業場所	橋脇税理士事務所	利用者数	1名
作業内容	◆毎週木曜日、白浜町にある税理士事務所に単独で出勤し、事務所内において、不要書類のシュレッダー通し業務を行う。		
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆通勤ルート習得の為の付き添い支援を行い、単独で通勤できるようになった。</li> <li>◆不要書類のシュレッダー通し業務は継続して、安定的に取り組むことができた。</li> </ul>		

《作業収入》

作業班	平成29年度	平成28年度	作業班	平成29年度	平成28年度
よもぎ班	805,073円	713,916円	リサイクル	94,093円	78,227円
あざみ班	140,412円	137,122円	施設外作業	101,100円	0円
チャレンジ班	283,922円	266,262円			
合計				1,424,600円	1,195,527円

《アート展、バザーの実施状況と売上》

活動場所	しそう森のバザール、姫路保育専門学校、夢前文化交流発表会など
活動内容	◇知的障害者の社会参加及び施設製品を展示販売し市民への啓発活動の推進。
実績	◇アート展の開催や委託販売を依頼し、ゆめさきの家での作業・活動を知って貰う事ができた。 ◇しそう森のバザール等での販売活動に利用者が参加するなど社会参加が図れた。

開催月	名称・場所	売上	開催月	名称・場所	売上
4月	かじかの里	7,700円	11月	夢前文化交流発表会	6,200円
5月	しそうの森バザール	20,050円	3月	あざみの里ひろば	2,300円
6月	姫路保育専門学校 学園祭	15,620円	合計		51,870円

3 余暇活動支援

興味、関心のある活動への参加を促進することにより、日々の生活の充実感や満足感が高まるよう支援を行なった。

《生け花》

\*SS(ショートステイ利用者)

活動場所	男子棟2Fリビング	利用者数	9名 (8名+*SS1名)
活動内容	◇毎月第3金曜日13:30~14:30、中末敏和講師の指導の下、四季折々の花にふれ、生け花を楽しんだ。		
実績	◇正面玄関の生け花飾り台に花の名前を掲示する事で、生け花クラブに参加されていない利用者も花に興味をもたれていた。 ◇講師が利用者の自主性を引き出す指導をされた事で伸びやかに、感性豊かに花を生け楽しむ事ができた。 ◇開始時に花の名前を説明することで、花への関心がより広がった。 ◇ショートステイ利用者がサービス利用されなくなった事により年度途中参加人数が少なくなった。		

《カラオケ》

活動場所	女子棟リビング	利用者数	12名
活動内容	◇余暇活動の一環として女子棟リビングにてカラオケを行ない、歌に合わせて手を叩いたり一緒に歌ったりして、楽しい時間を共有し交流を深めた。		
実績	◇利用者が選曲しやすいよう、利用者ごとによく歌われる曲のルビ入り選曲リストを作成した。特に不穏な様子も見られず、全員意欲的に参加された。		

《詩吟》

活動場所	相談室	利用者数	7名
活動内容	◇第1・2・4金曜日の13:30から14:30まで、ボランティアの国光恵子講師のもと、様々な歌の練習に取り組んだ。		
実績	◇事前に準備をしたり、講師が来園すると出迎えたりする等、自発的に活動に取り組んでいる様子が伺えた。 ◇毎回、講師と担当者間で活動中の利用者の様子について意見交換を行い、スムーズに活動を実施する事が出来た。		

《スヌーズレン》

場所	女性棟	利用者数	5名
活動内容	◇毎週水曜日9:30から「光、音、におい、触覚」の素材を組み合わせたスヌーズレンルームを活用し、心地よくゆったりと過ごせる時間を提供した。		
実績	◇心身共に穏やかに過ごす様子が見られた。		

《楽器クラブ》

活動場所	女性棟リビング	利用者数	10名
活動内容	◇第1,3,5日曜日13:30~14:30 キーボード、打楽器等を使用してオリジナル曲の練習を行なった。		
実績	◇6/18 姫路福祉保育専門学校の学園祭に参加し演奏を披露。 ◇10/8 デイサービスセンターあじさいホームでの演奏会実施。 ◇11/3 夢前文化交流発表会に参加し演奏を披露。  音楽を演奏する楽しさや達成感等、利用者同士で共有、実感する事が出来た。また、近隣施設や地域の行事で演奏する事により、施設の活動を知ってもらうことができた。		

《スポーツクラブ》

活動場所	姫路市立夢前スポーツセンター (夏季のみ食堂使用)	利用者数	10名
活動内容	◇毎月第1・4金曜日午後、上菅公民館の体育館を利用し、スポーツ活動を行なった。(ボッチャ、フライングディスク等)		
実績	◇ボッチャ、フライングディスク、ウォーキングを行い、レクリエーションと体力保持に努めることができた。		

《料理クラブ》

活動場所	食堂 交流ホーム1F	利用者数	26名
活動内容	<p>【お菓子作り】</p> <p>◇水曜日午後、食堂にて季節の食材を使用したお菓子作りを行った。</p> <p>◇参加希望者が26名の為、4班に分け1ヶ月に各1回ずつ実施した。</p> <p>【昼食作り】</p> <p>◇1ヶ月に1回、交流ホーム1Fリビングにて四季折々の食材を使用した料理作りを行った。</p> <p>◇4班に分け、それぞれ3か月に一回の割合で実施した。</p>		
実績	<p>《お菓子作り》</p> <p>◇豆腐、お麩を使用したヘルシーなお菓子作りを行うと共に新メニュー加えも、季節に合わせ12種類のお菓子作りを行った。</p> <p>◇工程を細分化し個々の理解に合わせた作り方を提供する事で協力し合いお菓子を作ることができた。</p> <p>◇作る喜び、食べる楽しみを共感する事ができ余暇の充実を図る事ができた。</p> <p>◇参加者1名が退所、ショートステイ利用者が施設を利用されなくなった事により参加者が2名減った。</p> <p>【昼食作り】</p> <p>◇支援の都合により実施場所を交流ホーム1F、実施時刻を10:00~13:00に変更した。</p> <p>◇メニューは、①豚肉の野菜巻き、筑前煮、みそ汁 ②鶏のから揚げ、ジャーマンポテト、みそ汁 ③チンジャオロース、白菜と春雨の中華炒め、ワンタンスープなど。</p> <p>◇工程を細分化し、個々の理解に合わせた作り方を提供する事で協力し合う事ができた。</p> <p>◇参加者1名が退所、ショートステイ利用者が施設を利用されなくなった事により参加者が2名減った。</p>		

《図書クラブ》

活動場所	安富図書館	利用者数	13名
活動内容	図書の借出し、DVD鑑賞 (散歩中止時の代替活動として実施)		
実績	◇図書館では読書とDVD鑑賞を行い、施設に帰っても貸し出された本を楽しまれ、充実した活動が行えた。		

《紙芝居クラブ》

活動場所	男性棟 2F	利用者数	11名
活動内容	ボランティアの有末久美子講師による絵本、紙芝居の読み語り		
実績	◇毎月2回（第2, 4土曜日実施） ◇読み語りの中で、笑い声に包まれるなど楽しい雰囲気での活動できた。 ◇利用者の状況に合わせ、落ち着いて参加できるよう席順等の配慮を行った。		

《その他》

個別的な余暇等支援として以下のことを行なった。

- ・ 休日外出への支援（姫路駅周辺や山崎方面への外出）
- ・ 投票活動への支援（情報提供、投票会場までの送迎）
- ・ 喫茶店、美容院利用への支援
- ・ 地域の秋祭りやふれあいサロン事業（ふれあい喫茶など）への参加支援

4 保健衛生

健康増進・維持のため、嘱託医・協力医療機関と連携しながら次の事を行った。

- (1) 身体測定 身長測定、腹囲測定を年2回 体重測定を毎月実施した。
- (2) 健康診断 全利用者を対象に年2回実施した。（40歳以上は検査項目増）
- (3) 歯科検診 全利用者を対象に年2回訪問診療にて実施した。  
要治療者については後日治療を行った。
- (4) 血圧測定 40歳以上の利用者については毎月1回の定期測定を行なった。  
また、健康管理上必要な人には適宜測定を行なった。
- (5) インフルエンザの予防接種を利用者全員受け、感染防止に努めた結果、感染者はなかった。
- (6) 3ヶ月に1回（1人当り）の施設内定期内科検診を実施した。
- (7) 肥満対策として、適正なカロリー摂取が行なえるよう支援した。また、適宜、運動の機会を提供した。

《健康状況》

感染症は含まず

健康の状況		男性	女性
元気でこの一年病気らしい病気はない	健康	9名	3名
ときに風邪をひく程度		10名	7名
やや病弱でよく風邪などをひき医師にかかる	病弱	0名	0名
ほとんど病気がちで治療を受けている	疾病	1名	0名

《疾病別通院・服薬人数》

脂質異常症	9名	高尿酸血症	3名	高血圧症	3名	アレルギー症	6名
便秘症	9名	慢性蓄膿症	2名	喘息	1名	神経痛	1名
甲状腺異常	1名	胃腸機能障害	2名	子宮筋腫	1名	精神科治療	13名

《通院状況》のべ人数

定期健診・歯科検診・治療を目的としない検査通院を除く

種別 月	内科	外科・整 形外科	精神・神 経科	眼科	耳鼻・咽 喉科	皮膚 科	婦人 科	歯科	泌尿 器科	そ の 他	計	28年 度	27年 度
4月	0	1	8	0	1	0	0	5	1	0	16	15	22
5月	0	4	5	2	0	0	1	3	3	0	18	18	13
6月	0	1	5	0	0	0	0	0	1	0	7	22	19
7月	0	7	6	0	0	0	0	0	2	0	15	10	26
8月	1	3	5	4	0	0	0	0	2	0	15	15	20
9月	0	2	2	1	0	0	0	13	2	0	20	24	25
10月	0	1	6	1	0	0	0	6	0	0	14	13	19
11月	0	0	3	4	0	0	0	2	1	1	11	25	12
12月	0	10	5	1	0	0	0	5	1	0	22	22	14
1月	0	3	3	1	0	0	0	3	1	0	11	15	7
2月	1	4	4	3	0	0	0	7	0	0	19	17	14
3月	0	12	5	2	0	0	0	3	1	0	23	22	11
合計	2	48	57	19	1	0	1	47	15	1	191	218	202
28年度	9	21	65	12	4	6	1	92	8				

その他 内訳 循環器

5 食事

「栄養バランス」「家庭的」「季節感」「食べる楽しみ」を大切にした食事提供に努めた。

- (1) 利用者一人ひとりの健康や身体状況に配慮しつつ、季節感のある献立を提供した。
- (2) 衛生管理を徹底し、安全な食事提供に努めた。
- (3) 利用者個々の好みに配慮した献立の工夫を行った。
- (4) 利用者の嚥下、咀嚼状態に応じた食事提供を行った。（刻み食、コソフークなど）
- (5) 生活習慣病予防のため、献立の工夫を行なった。
- (6) 中播磨給食施設協議会への参画を通じて、非常時における施設間の食事相互支援体制を強化した。
- (7) 年齢、性別、生活状況に応じた食事（主食量、副食量）提供を通じて、適正な栄養を摂取できるよう支援した。
- (8) 利用者それぞれの誕生日に希望のあった献立を全員に提供した。

III 家族との連携

- 1 保護者会活動と連携した行事を実施した。（＊は、保護者会主催行事）  
納涼祭り ＊親子の集い（家族との日帰り旅行） ＊春の食事会（カレー）
- 2 保護者会（月例）における情報交換を積極的に行った。  
法人と保護者会との連携について 今後の修繕計画について  
利用者高齢化に伴う課題について 事業の進捗状況について

- 3 保護者会の協力により環境整備を推進した。  
敷地内樹木の剪定、除草 水路上鉄板の塗装など
- 4 広報紙「ゆめさきの家だより」を発行し情報提供に努めた。
- 5 個別支援計画作成過程における業務手順遵守を徹底し、説明と同意について一層の理解が得られるよう努めた。

#### IV 地域との交流及び地域サービス事業

##### 1 地域との交流

- (1) 地域の高齢者施設行事に楽器クラブが出演し交流を深めた。
- (2) 夢前文化交流発表会に演奏、物品販売で参加、地域の方と交流を深めた。
- (3) 専門学校の学園祭に、楽器グループが出演し交流を深めた。また、施設生産品を展示即売し啓発に努めた。
- (4) 地域の方を対象とした陶芸教室を開催し交流を深めた。
- (5) 地域交流事業として納涼祭りを開催し、地域住民との交流を深めた。
- (6) 地域の他社会福祉施設と音楽、スポーツを通じて交流を深めた。
- (7) 地域で開催される「ふれあい喫茶」「きまぐれ喫茶」を定期的に利用し、地域の人たちとの交流を深めた。(参加利用者3名)

##### 2 ボランティアとの連携

余暇活動等にボランティアを積極的に受け入れ、活動の充実化、活性化を図った。

##### 3 地域サービス事業

###### (1) 短期入所事業・日中一時支援（日中短期）事業

利用者区分 事業区分	児童利用者数	のべ 利用日数	成人利用者数	のべ 利用日数
短期入所	0名	0日	4名(男性3・女性1)	640日
(下段は昨年度)	0名	0日	4名(男性3・女性1)	346日
日中短期入所	1名(男性)	18日	2名(男性1・女性1)	31日
(下段は昨年度)	1名(男性)	13日	2名(男性1・女性1)	15日

###### (2) 一人暮らし高齢者昼食宅配サービス

夢前町筋野地区の一人暮らし高齢者1名を対象に毎月1回昼食宅配を実施した。

併せて生活状況の把握に努めた。

対象者	筋野在住のAさん(81歳)
献立	当日の利用者献立に同じ
配達者	担当職員1名、利用者2名
実施日	毎月第2火曜日

## V 権利擁護への取り組み

### 1 苦情解決制度

利用者から苦情に該当する申し出が1件あった。苦情解決制度に則り問題解決にあたるとともに原因を明らかにし再発防止に努めた。

#### (1) 苦情申し出件数 1件

利用者 申し出 1件 職員の対応に関して

#### (2) 体制 (責任者) 富田信介 (窓口担当) 松島富樹 山本克也

#### (3) 第三者委員 小林 かおる (当法人監事)

### 2 虐待防止への取り組み

職員会議などを通じて、虐待防止やリスク管理に関する研修を行い、職員個々の権利擁護意識の更なる向上に努めた。

### 3 利用者自治会活動支援 (そよかぜの会)

利用者自治会主催行事 (レクリエーション等) の企画・運営が自主的に行えるよう必要な支援を実施した。また、適宜自治会役員との意見交換の場を設け、利用者の要望を施設運営に反映するよう努めた。

施設行事に合わせたレクリエーション企画 施設長との話し合い 給食会議への参加 (役員)
--

## VI 各種専門実習の受け入れ

実習内容を充実させ、福祉、保育現場を担う人材の育成に取り組んだ。

介護等体験 《1名につき5日間》	
兵庫教育大学、関西福祉大学 神戸医療福祉大学等	6名

市民後見フォローアップ研修 《1名につき1日間》	
姫路市内の市民後見人	2名

## VII 職員の専門性向上

### 1 施設内全体研修 (会議などを通じて)

- ・ 社会福祉関連法律の概要について
- ・ 利用者の権利擁護について (虐待、プライバシー保護など)
- ・ 安全確保・事故防止について
- ・ 障害特性について (行動障害、ダウン症、高齢知的障害など)
- ・ 高齢障害者支援について

### 2 外部研修への参加

関係団体主催の研修会等に参加し、専門性や対人支援スキルの向上、社会福祉の動向把握、障害特性の理解などに努めた。

《研修参加状況》

月	内容	場所	参加職員
4	播淡地区施設長・代表者合同研修会	姫路市	支援員
5	中播磨給食施設協議会総会	福崎	栄養士
	姫路市栄養管理研修会	姫路市	栄養士
	衛生講習会	姫路市	調理員(2)
6	法人等研修会	姫路市	副施設長
	新任職員研修会	姫路市	支援員(3)
7	OJT リーダー養成研修	神戸市	支援主任
	病院栄養士研修会	姫路市	栄養士
9	ネットワーク部会検討会	福崎	栄養士
	姫路市在宅高齢者食支援検討会	姫路市	栄養士
	相談支援業務研修①	姫路市	相談支援専門員
	相談支援業務研修②	姫路市	相談支援専門員
	OJT リーダー養成研修	神戸市	支援主任
	全国知的障害者福祉関係職員研究大会	名古屋市	支援員
	栄養管理研修会	姫路市	栄養士
	姫路市自立支援協議会専門部会	姫路市	支援員
	強度行動障害支援者養成研修会	神戸市	支援副主任
	姫路市栄養管理研修会	姫路市	栄養士
10	中播磨栄養士自主勉強会	福崎	栄養士
	グループホーム見学研修	上郡	支援員(3)
	栄養管理研修会	姫路市	支援員
	中播磨給食施設協議会実地訓練	姫路市	栄養士
11	食育実践事業研修会	福崎	栄養士
	OJT リーダー養成研修	神戸市	支援主任
	病院栄養士研修会	姫路市	栄養士
	姫路市相談支援事業所全体会議	姫路市	相談支援専門員
	播磨地域障害福祉サービス従事者研修会	姫路市	支援員(2)
	食をつなぐ検討会議	姫路市	栄養士
12	姫路市相談支援専門員ビギナーズ講座	姫路市	相談支援専門員
	強度行動障害支援者養成研修会	神戸市	支援員
	姫路市障害者職業自立センター見学	姫路市	相談支援専門員
1	サービス管理責任者研修	奈良県	支援副主任
	障害者支援センター見学	姫路市	相談支援専門員
	食をつなぐ検討会議	姫路市	栄養士
	相談支援事業所西ブロック会議	姫路市	相談支援専門員
	姫路市栄養管理研修会	姫路市	栄養士
2	相談支援事業所研修会	姫路市	相談支援専門員

	サービス管理責任者研修	奈良県	支援副主任
	中播磨栄養士研修会	福崎	栄養士
	救命講習会	ゆめさきの家	職員(8)
3	食をつなぐ検討会議	姫路市	栄養士
	姫路市栄養士研修会	福崎	栄養士
	中播磨栄養士会研修会	姫路市	栄養士
	障害福祉サービス事業所説明会	姫路市	施設長

( )内は複数参加における人数

## Ⅷ 会議の開催

### 1 職員会議(月1回・全員)

行事予定の確認や打ち合わせ、事業の進捗状況の確認、障害福祉を取り巻く状況などについて意見交換を行った。

### 2 ケース会議(月1回・職員全員 利用者及び身元引受人)

利用者支援方針の決定および支援方法の協議、支援状況の確認などに加え、作業及び生活上の問題提起と対策等を検討した。出席希望のあった利用者及び身元引受人については同席の上、意見交換を実施した。

### 3 給食会議(年4回・全員)

衛生面や利用者の健康状態に配慮した献立作成に関すること及び嗜好調査・食材の価格に関することを検討した。

### 4 運営会議(隔月 施設長、副施設長、支援主任、支援副主任)

運営全般に関する課題や方針について協議を行った。

## Ⅸ 安全への取り組み

事故の発生またはその再発防止のため、日常生活に潜むリスクの発見や家族との連携のありかたについて検討を行い、次のことを実施した。

1 支援内容、場所の変更にあたっては、定例または臨時のケース会議を開催し、安全面への十分な検証を行うとともに、支援の手順について一層の具体化を図り、利用者の生命、身体の保護に向けた支援を行うことを徹底した。

2 福祉用具等を使用する場合は、事前に職員に対して、安全かつ適正な使用方法や危険防止への配慮などの安全教育を行うとともに、機器使用に当たってのマニュアルを作成し周知を徹底した。

3 リスク管理に努めた。

(1) ヒヤリハット報告を通じリスクの早期発見に努め、必要な対応を実施した。

報告件数 8件

内訳 転倒、発作、服薬など

(2) 発生した事故の背景や原因の考察を行い、改善策を講じることで再発防止に努めた。

事故報告件数 10件

内訳 転倒による負傷 無断外出 てんかん等

また、毎月、過去1年間のヒヤリハット・事故の一覧を供覧し、対応が適切に実施できているかどうか確認する機会を設けた。

(3) 業務手順書の整備、職員の研修、家族との関係強化への取り組みを一層推進した。

(4) 利用者の安全に関わる施設内の備品、器具について、定期点検を行い、事故防止に努めた

## X 防災への取り組み

災害や事故の危険から利用者を守るため必要な訓練を実施した。

項目	頻度	備考
避難訓練	月1回	夜間想定訓練年4回
通報訓練	年2回	
総合訓練	年1回	所轄消防署の指導の下実施
安全教育	随時	
炊き出し訓練	12月	かまど、薪を使用し、屋外で非常食の調理を行った。また、貯水タンクや非常用浄水器の使用方法について周知を図った。
救命講習	2月	所轄消防署の署員による講習会を開催。職員8名参加。終了後、全員救命技能を有する旨の認定を受けた。
危険箇所等の安全点検	週1回	
防火設備の点検	年2回	ゾホキに依頼し実施
その他 ・自動火災通報システムの整備（火災発生時、消防署へ直接通報） ・3日間以上の非常用食料、飲料水の備蓄		